



『宮本輝ミュージアム』

2008年、学校法人追手門学院は創立120周年を迎えます。

『宮本輝ミュージアム』は、その記念事業の一環として、追手門学院大学附属図書館の改修と同時に併設いたしました。

広く一般の方へも公開いたしますこのミュージアムは、本学文学部第1期卒業生であり、作家として活躍されている宮本輝氏の愛用品、直筆原稿など、数多くの資料を展示し、宮本輝氏の著作等を通して、図書館を利用される学生及び市民の方々に感動と共感の場を提供できることを願って開設いたしました。そして宮本輝氏のご活躍とともに成長し続けるミュージアムでありたいと願っています。

『宮本輝ミュージアム』を通して、追手門学院大学が皆様にとって、より身近な存在となりましたら幸いです。

2005年5月21日

『宮本輝ミュージアム』展示品リスト

【東側】

◎年譜

◎自筆の詩（ガラス板）

《年譜下ガラスケース》

●広辞苑 ●インクと万年筆 ●直筆原稿（複製）「生きものたちの部屋（3）『インクと万年筆』

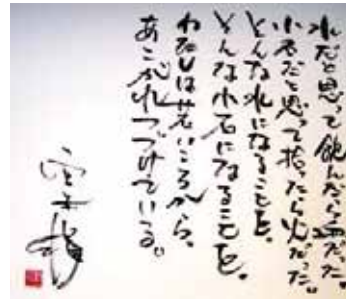
●湯のみ ●懐中時計（芥川賞正賞） ●グラス ●小物入れのかご ●水差し ●墨、筆

●硯 ●自筆の書「正直であるということの凄さ」（複製）

○追手門学院大学第一期生卒業記念アルバム（在学中の写真）・第二期生卒業記念アルバム（茨木学舎全景）

○追手門学院大学三十年史 「創立三十周年を祝して（宮本輝）」

○読売新聞記事 昭和57年（1982）7月26日（月）夕刊 1面・3面 パネル



【北側・展示架】

① 作家活動のはじまり

1977年デビュー作「泥の河」と「螢川」を相次いで『文芸展望』に発表。「泥の河」で第13回太宰治賞、「螢川」で第78回芥川龍之介賞を受賞した。この2作は1978年に発表された「道頓堀川」とともに「川三部作」として著者の代表作となった。

『螢川』『道頓堀川』『川三部作 泥の河 螢川 道頓堀川』『幻の光』『星々の悲しみ』

② 初期の作品

芥川賞受賞後、肺結核を発病し、約2年間の療養を余儀なくされた。復帰後、旺盛な創作活動が開始される。

『ドナウの旅人（上・下）』 『錦繡』と冒頭部分原稿（複製）

③ 初めての海外取材

1982年「ドナウの旅人」執筆取材のため、ドナウ川流域を訪問。以後、毎年のようにヨーロッパ諸国等へ取材旅行。

『異国の窓から』

④ 映画化された代表作

1982年「泥の河」が小栗康平監督によって映画化され、モスクワ国際映画賞銀賞ほかを受賞した。

以後、多くの作品が映画化、ドラマ化されている。

「優駿」競走馬の世界を描いた作品で、日本中央競馬会から第一回馬事文化賞を受賞。

1987年に吉川英治文学賞を受賞し、1988年映画化された。

『優駿（上・下）』 映画『優駿』DVDと映画パンフレット 映画『幻の光』 ビデオ

⑤ 海外を舞台にした作品

『愉楽の園』 タイを舞台にした作品。著者が最初に書いた小説「弾道」が作品の原型となっている。

⑥ 青春時代を描いた作品

『青が散る』と連載第1回冒頭部分原稿（複製） 新設大学に入学した椎名遼平はテニスコートのないテニス部に所属する。遼平の恋や友情、青春をテニスとともに描いた作品。

『春の夢』『二十歳の火影』

⑦ “父と子”を描くライフワーク『流転の海』

敗戦後の昭和22年、50歳で長男を得た松坂熊吾の半生を描く大河小説。1982年著者35歳の年に、全5部の予定で執筆が開始された。2004年『新潮』6月号より第5部「花の回廊」の連載開始。

連載第1回冒頭部分原稿（複製）と『流転の海 第一部』（福武書店）

第1部『流転の海』 第2部『地の星』 第3部『血脈の火』 第4部『天の夜曲』（新潮社）

⑧ 青春と読書

13歳の日、井上靖著『あすなろ物語』を読んで以後、読書に耽溺した。本や小説は、波間にただよう小舟のような、14歳から18歳までのよるべない時代の支えのような存在であったらう。

『本をつんだ小舟』思い出の作品と読書体験を記した作品。宮本輝編集のアンソロジー集

⑨ 『川三部作』

筑摩書房 1985年刊。限定200部中の第187番

⑩ 作家 宮本輝を知る本

『新潮四月臨時増刊 宮本輝』新潮社 1999年4月刊

⑪ 「優駿」

連載第1回冒頭部分原稿（複製）

⑫海外に翻訳された作品

1986年の『泥の河』中国語版発行以後、中国語、フランス語、英語、ハングル語、ロシア語などへの翻訳書が多数刊行されている。

『彗星物語（上・下）』（原書 角川書店 1992 年刊）とハングル語版（Koreaone Press1993 年刊）訳者は金賢姫

⑬恋愛をテーマにした作品

『私たちが好きだったこと』

⑭「ドナウの旅人」以降の新聞連載（1）

『花の降る午後』角川書店 1988 年刊（1985 年 7 月～1986 年 2 月『新潟日報』等に連載）

『海岸列車（上・下）』毎日新聞社 1989 年刊（1988 年 1 月～1989 年 2 月『毎日新聞』連載）

『ここに地終わり海始まる』講談社 1991 年刊（1990 年 3 月～11 月『福島民友』等に連載）

⑮「ドナウの旅人」以降の新聞連載（2）

『朝の歎び（上・下）』講談社 1994 年刊（1992 年 9 月～1993 年 10 月『日本経済新聞』連載）

『人間の幸福』幻冬舎 1995 年刊（1994 年 5 月～1995 年 1 月、『産経新聞』連載）

『草原の椅子（上・下）』毎日新聞社 1999 年刊（1997 年 12 月～1998 年 12 月『毎日新聞』連載）

『約束の冬（上・下）』改訂版文藝春秋 2004 年刊（初版 2003 年刊）（2000 年 10 月～2001 年 10 月『産経新聞』連載）

⑯阪神淡路大震災後の作品

作家自身もこの大震災によって被災した。震災の渦中、日々増大していく被害は、連載終盤を迎えていた『人間の幸福』最終章にも影響を与えた。

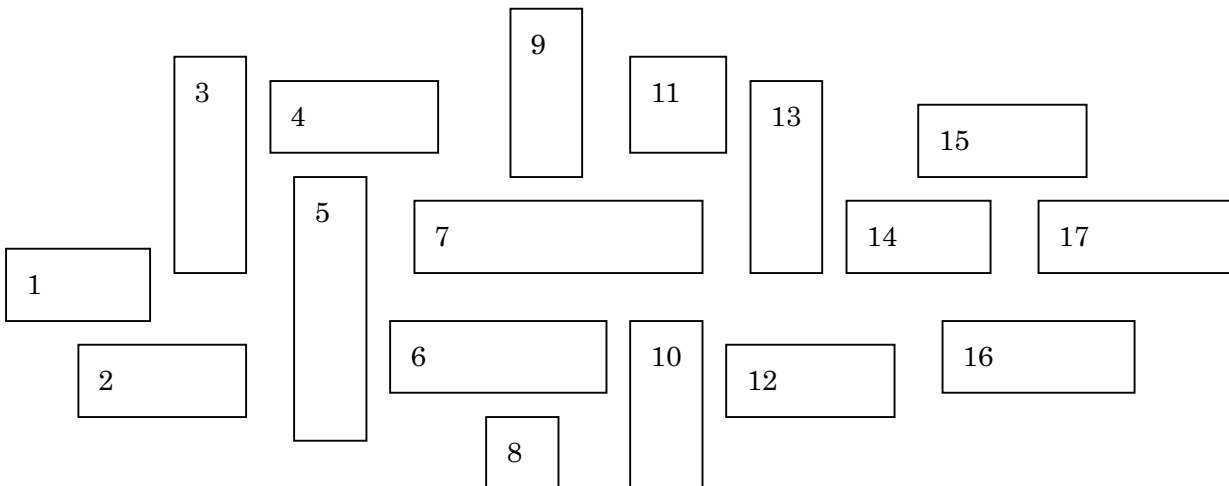
『森のなかの海（上・下）』震災当日の朝から始まる物語

⑰シルクロードへの旅

1995 年 5 月、約 1700 年前に膨大な經典の漢語訳をなした鳩摩羅什^{クマラジユフ}の足跡を辿る 40 日間にわたるシルクロードの旅に出た。『ひとたびはポプラに臥す』旅の紀行文集

『星宿海への道』 『胸の香り』シルクロードの旅に題材をとった短編「道に舞う」を収録。

北側展示架番号 ※上記番号は展示架の番号です



特別展示 『錦繡』展

展示品リスト (展示期間 2008年10月11日～2008年12月19日)

【展示ケース内】

<表面>

- 直筆原稿 (複製)
 - ・冒頭部
 - ・1通目の手紙(巫紀から靖明へ)
 - ・5通目の手紙(巫紀から靖明へ)
 - ・14通目の手紙(巫紀から靖明へ)
- 初出雑誌『新潮』, 1981年12月号 (表紙と P.6-7の複製)
- 朝日新聞掲載出版広告
1981年11月7日朝刊2面(複製)
- 単行本『錦繡』新潮社, 1982年3月
- 朝日新聞掲載出版広告
1982年3月25日朝刊3面(複製)
- 「宮本輝『錦繡』」栗田有起執筆
『名短篇: 新潮創刊100周年記念通巻1200号記念』
新潮社, 2005年1月1日 (SHINCHO ムック) P.396
- 『錦繡』翻訳版
 - ・ロシア語 Galina Dutkina 訳 Hyperion, 2005年
 - ・中国語/繁体字版 張秋明 訳 麥田出版, 2004年
 - ・フランス語 Maria Grey 訳
Editions Philippe Picquier, 1994年
 - ・韓国語 金賢姫 訳 KOREAONE PRESS, 1995年

<裏面>

- 「錦繡」舞台化 パンフレットとチラシ
- 「舞台になる『錦繡』(café)」『週刊新潮』52巻25号(通号2602)新潮社, 2007年7月5日 P.181
- 文庫本舞台化の帯付き『錦繡』新潮社, 60刷改版(2004年3月) *この文庫本は64刷(2005年6月)です。
- 『新潮文庫の100冊; 2008』新潮社, 2008年 P.19
*「名作」のカテゴリーで紹介されています。
- 「特別対談★鹿賀丈史×ジョン・ケアード」
『教えて! ミュージカル』日経BP出版センター,
2007年7月31日(日経BPムック) P.40
- 『錦繡』英語翻訳版
Roger K. Thomas 訳 New Directions, 2005年
- 「『錦繡 KINSHU』ジョン・ケアード演劇界の
“魔法使い”」『Top Stage: TVガイド増刊』
vol.48 no.40 東京ニュース通信社, 2007年8月11日
P.80-81
- 舞台「錦繡」のクリアファイル(2種)
- 「演出家ジョン・ケアードが宮本輝文学に挑戦
(CONCIERGE STAGE ところが旅する舞台)」
『婦人画報』1246号 婦人画報社,
2007年5月1日 P.377

【第一部】作品を深く味わう

- 往復書簡タペストリー「ことばを紡いだ十四通の手紙」
- 作品紹介パネル
- 登場人物紹介パネル
- 蔵王紹介パネル
- 【読者×宮本輝】往復書簡: 『錦繡』にまつわる一問一答パネル

【錦繡関係資料】

- 宮本輝氏が影響を受けた作品とその他の書簡体小説
「貧しき人々」ドストエフスキー, 「風の便り」太宰治, 「あしながおじさん」ウェブスター など
- 本学所蔵の『錦繡』関連図書
- 本学所蔵の「モーツァルト」関連図書
- 雑誌等に掲載された『錦繡』関連資料(複写記事)
* 複写記事閲覧希望の方は、図書館カウンターにお申し出ください。

【第二部】作品のひろがりを感じる

- 舞台「錦繡」関連資料
舞台紹介パネル/舞台ポスター (企画制作: ホリプロ
上演: 東京 天王洲銀河劇場 2007年7月21日～8月12日)

【スライドショー 感想文/蔵王風景写真】

山形県蔵王の風景写真と、この企画展のためにご応募
いただいた「錦繡」の感想文をスライドショーで紹介。

【来場者参加コーナー】

手紙をミュージアム内特設ポストに投函してください。
いただいた手紙はミュージアム内に掲示した後、
宮本輝氏にもご覧いただく予定です。

※名前の記入は任意で結構です。

いただいた情報は上記の目的以外では使用いたしません。

【BGM】 SYMPHONIES 交響曲集

WOLFGANG AMADEUS MOZART (1756 - 1791)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

(1) Symphony no.35 K.385 "HAFNER"

交響曲 35番 ハフナー

(2) Symphony no.39 K.543 交響曲 39番

(3) Symphony no.41 K.551 "JUPITTER"

交響曲 41番 ジュピター

指揮: KARL BÖHM

BERLIN PHILHARMONIC ORCHESTRA (1)

VIENNA PHILHARMONIC ORCHESTRA (2)(3)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2-1-15

追手門学院大学附属図書館『宮本輝ミュージアム』

2005年5月21日発行 2008年10月17日改訂 (第11版)